

科研費補助金「宋～明代日用類書の基礎的研究」（基盤研究(C)15K02923）研究成果

明代日用類書 研究論文・著作目録稿

大澤正昭・監修 杉浦廣子：編
2019年1月

凡例

○本稿は科学研究費補助金「宋～明代日用類書の基礎的研究」（基盤研究(C)15K02923）による研究成果の一部であり、この趣旨に基づいて作成した宋～明清までを中心とする日用類書研究の著作目録である。

○いわゆる日用類書は概念が明確ではないが、『中國日用類書集成』全 14 卷（汲古書院、1999 年から 2004 年）や『明代通俗日用類書集刊』全 16 卷（西南師範大学出版社、2011 年）に収録されている類書および酒井忠夫氏の『中国日用類書史の研究』（国書刊行会、2011 年）に取り上げられている類書のなかから、基層社会研究に直接役立つと思われるものを抽出している。詳細については「明刊本日用類書国内所蔵目録稿」の凡例を参照されたい。

○調査方法は以下の通りである。

- ・雑誌論文・学位論文に関しては CiNii や CNKI 等の電子データベース調査を基本とし、可能な範囲で本文内容を確認した。各日用類書の書題・編者名・類書に収録されている書題等を論文主題や要旨・キーワードに含むものを抽出し、それらの参考文献も必要に応じて抽出した。

- ・書籍に関しては基本的に論文等の参考文献より抽出したものである。要旨・キーワードの電子検索が難しいため限定的な調査となっており、改訂の余地の多いところである。

○リストは発行地を基準として「日本・台湾・中国・その他地域」に分類した。

○「日本」は CiNii の登録データに基づく著者名読み仮名順に配列したが、一部登録のない著者については編輯時の独断で配列されている。また中国語論文の著者名・表題等の簡体字表記は日本の新字体漢字に置き換えを行ったが、同様に編輯時の独断に基づくものである。誤りのある場合はご指摘をお願いしたい。

○「中国・台湾」は著者名筆画数順＞部首順、「その他地域」は著者名アルファベット順とした。また同著者のものについては発行年順とした。

○本稿は試行段階のものであり、内容的な誤りや未採録文献が多くあると考えられる。これをたたき台として、今後さらに改訂作業を続けてゆきたい。読者諸賢の忌憚のないご批判をいただけるようお願いしたい。

◆国内

- ・石田幹之助「『至元訳語』に就いて」静安学社（編）『東洋学叢編』1 冊所収、刀江書院、1934 年。
- ・磯部彰「越中国の関帝文献」『東北アジア研究』2、1998 年、282-312 頁。
- ・磯部彰ほか『中国小説・戯曲の発展史における遊民の役割に関する研究』文部省科学研究費補助金研究成果報告書（基盤研究(B)、研究課題番号 10044002）、1998-1999 年。
- ・伊藤美重子「類書について」『お茶の水女子大学中国文学会報』24 号、2005 年、1-19 頁。
- ・井上徹『「郷約」の理念について——郷官・士人層と郷里社会』名古屋大学東洋史研究報告、1986 年、11 巻。
- ・井上進『中国出版文化史 書物世界と知の風景』名古屋大学出版会、2002 年。
- ・岩村忍『「居家必用事類全集」に見えたる回回食品並に女直食品』『民族学研究』新 1-4、1943 年、468-472 頁。
- ・上原究一「金陵書坊周曰校万卷楼仁寿堂と周氏大業堂の関係について」『斯道文庫論集』48、2014 年。
- ・上原究一『明末清初の出版文化と章回小説の発展史——覆刻・翻刻・後印の事例を中心に——』文部省科学研究費補助金基盤研究成果報告書（特別研究員奨励費、研究課題番号 13J02313）2013-2015 年。
- ・上原究一「萃慶堂の歴代主人について——建陽余氏刻書活動研究(1)——附『書林余氏重修宗譜』「書坊文興公派下世系」第 37 世までの翻刻と校訂」『中国古典小説研究』19、2016 年。
- ・上原究一「自新齋系統について——建陽余氏刻書活動研究(2)」『山梨大学 国語・国文と国語教育』21、2016 年、110-122 頁。
- ・上原究一「明末の商業出版における異姓書坊間の広域的連携の存在について」『東方学』131、2016 年 1 月、52-70 頁。
- ・上原究一『明末清初における異姓書坊間の広域的連携の研究——覆刻・翻刻を手掛かりに——』文部省科学研究費補助金基盤研究成果報告書（研究活動スタート支援、研究課題番号 15H06238）、2015-2016 年。
- ・海野一隆「世界民族図譜としての明代日用類書（小特集 中国日用類書）」『汲古』47、2005 年、30-39 頁。
- ・王嵐（著）・會谷佳光（訳）『錦繡萬花谷』別集の編輯出版とその中の宋代佚詩『橄欖』16、2009 年、183-208 頁。
- ・大木康「明末江南における出版文化の研究」『広島大学文学部紀要』第 50 巻特集号 1、1991 年。

- ・大木康『明末江南の出版文化』研文出版、2004年。
- ・大澤正昭『『居家必用事類全集』所引唐・王旻撰『山居録』について』『上智史学』55、2010年、111-140頁。
- ・大澤正昭『『居家必用事類全集』所収『山居録』の研究——訳注稿(1)』『上智史学』59、2014年、103-126頁。
- ・大澤正昭『『居家必用事類全集』所収『山居録』の研究——訳注稿(2)』『上智史学』60、2015年、31-43頁。
- ・大澤正昭『『山居録』の史的活用について』『唐宋変革研究通説』6、2015年、17-39頁。
- ・大澤正昭『明代日用類書の告訴状指南——「土豪」を告訴する』『唐宋変革研究通説』7、2016年3月、45-61頁。
- ・大澤正昭『商人たちの告訴状——明代日用類書の事例から』『上智史学』62、2017年、39-55頁。
- ・大塚秀高『宋代の通俗類書——『青瑣高議』の構成・内容よりみる』『日本アジア研究』6、2009年、107-120頁。
- ・大淵貴之『避諱による唐代類書の部立て改変について——『藝文類聚』における「改字」を中心に』『九州中国学会報』46、2008年、1-15頁。
- ・小川剛生『宗教・文化研究所公開講座講演録 洞院公定をめぐる書物——字書・部類記・未来記』『京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要』24、2011年3月、87-95頁。
- ・小川陽一『明清小説研究と日用類書』『東北大学教養部紀要』54号、1990年、71-91頁。
- ・小川陽一『日用類書の中の耕織図』『東方』138、1992年、2-5頁。
- ・小川陽一『日用類書による明清小説の研究』東北大学博士論文、1993年。
- ・小川陽一『日用類書による明清小説の研究』研文出版、1995年。
- ・小川陽一『日用類書——『万用正宗』『万宝全書』『不求人』など(特集 中国の百科全書——〈類書〉の歴史・その活用法)』『月刊しにか』9-3、1998年、60-65頁。
- ・小川陽一『中国における肖像画と文学』『大東文化大学漢学会誌』44、2005年、1-29頁。
- ・小川陽一『日用類書と明清文学——『風月機關』をめぐる(小特集 中国日用類書)』『汲古』47、2005年、40-45頁。
- ・小川陽一『最終授業講義録 日用類書と明清文学——『風月機關』をめぐる』『大東文化大学中国学論集』23、2005年、1-20頁。
- ・尾崎勤『『怪奇鳥獣図巻』と中国日用類書』『汲古』45、2004年6月、68-75頁。
- ・尾崎貴久子『元代の日用類書『居家必用事類』にみえる回回食品』『東洋学報』83-3、2006年、336-364頁。
- ・小野さやか『和製日用類書としての重宝記』『千葉大学日本文化論叢』6、2005年6

月。

- ・加地信行『類書の総合的研究』文部省科学研究費補助金研究成果報告書（総合研究(A)研究課題番号 06301002）1994-1995 年。
- ・金文京「制度としての古典——元代類書『事林広記』の法律記事」文部省科学研究費補助金基盤研究成果報告書（特定領域研究、研究領域番号 10183101）『古典学の現在』2 所収、2001 年、88-100 頁。
- ・金文京「規範としての古典とその日常的変容——元代類書『事林廣記』所引法令考」『古典学の現在 4』所収、2001 年。
- ・金文京「『事林廣記』刑法類・公理類譯注」『東方學報』74、2002 年、257-309 頁。
- ・金文京「『事林広記』の編者、陳元靚について」『汲古』47、2005 年、46-51 頁。
- ・「元代の社會と文化」研究班「『事林廣記』刑法類・公理類訳注」『東方学報』74、2002 年、257-309 頁。
- ・「元代の社會と文化」研究班「『事林廣記』人事類訳注」『東方学報』75、2003 年、273-393 頁。
- ・「元代の社會と文化」研究班「『事林廣記』学校類訳注(1)」『東方学報』76、2004 年、85-108 頁。
- ・「元代の社會と文化」研究班「『事林廣記』学校類(2)家礼類(1)訳注」『東方学報』77、2005 年、121-158 頁。
- ・吳蕙芳「『龍頭一覽学海不求人』的版本与内容」『明代史研究』34、2003 年、5-11 頁。
- ・吳修喆「明末の日用類書から見る燈謎」『社会と文化』30、2015 年、102-123 頁。
- ・酒井忠夫「元明時代の日用類書とその教育史的意義」『日本の教育史学』1 号、1958 年、67-94 頁。
- ・酒井忠夫「明代の日用類書と庶民教育」林主春（編）『近世中國教育史研究』所収、国土社、1958 年、62-74 頁。
- ・酒井忠夫『中国善書の研究』弘文堂、1960 年。
- ・酒井忠夫「序言——日用類書と仁井田陞博士」坂出祥伸・小川陽一（編）『中國日用類書集成』1『五車拔錦(一)』所収、汲古書院、1999 年。
- ・酒井忠夫「『中国日用類書集成』（汲古書院出版）の完結に当って（小特集 中国日用類書）」『汲古』47、2005 年、23-29 頁。
- ・酒井忠夫『中國日用類書史の研究』国書刊行会、2011 年。
- ・酒井忠夫『道家・道教史の研究』国書刊行会、2011 年。
- ・坂出祥伸「明代「日用類書」醫學門について」『關西大學文學論集』47 卷 3 号、1998 年、1-16 頁。
- ・坂出祥伸（編）『本邦公蔵明代日用類書目録初稿』1998 年。
- ・坂出祥伸「中国日用類書解題の再補遺——大谷大学所蔵「明代日用類書」三種など（小特集 中国日用類書）」『汲古』47、2005 年、52-59 頁。

- ・坂出祥伸「書評・新刊紹介 酒井忠夫著『中国日用類書史の研究』」『東方宗教』121、2013年、88-89頁。
- ・佐藤健一「『事林廣記』における面積について——室町時代の日本に影響を与えた百科事典」『数学史研究』225、2016年、49-60頁。
- ・佐藤健一「『事林廣記』における体積について」『数学史研究』226、2017年、1-13頁。
- ・篠田統・田中静一（編著）『中国食経叢書』（中国古今食物料理資料集成）、書籍文物流通会、1972年。
- ・住吉朋彦「カリフォルニア大学バークレー校東アジア図書館蔵 日本伝来漢籍目録初編」『斯道文庫論集』46、2011年、399-426頁。
- ・住吉朋彦『日本および周辺地域に波及した祝穆編書の版本研究——建陽坊刻類書の伝播に関する考察——』文部省科学研究費補助金基盤研究成果報告書（基盤研究(C)、研究課題番号20520175）2008-2011年。
- ・住吉朋彦「和刻本『事文類聚』考——その本文と、菊池耕斎の附訓について」『和漢比較文学』48、2012年、91-109頁。
- ・住吉朋彦「『方輿勝覽』版本考」『斯道文庫論集』49、2014年、167-237頁。
- ・住吉朋彦ほか『宮内庁書陵部収蔵漢籍の伝来に関する再検討——デジタルアーカイブの構築を目指して——』文部省科学研究費補助金基盤研究成果報告書（基盤研究(A)、研究課題番号24242009）2012-2016年。
- ・高津孝「書評 函書の府「福建」の出版史——謝水順・李珽著『福建古代刻書』」『東方』250、2001年12月、34-37頁。
- ・瀧本弘之「中国古版画散策(第30回)コンパクトにまとめた『事林広記』——ベストセラーの巧みな人物図」『東方』437、2017年、14-17頁。
- ・武田時昌ほか「中国科学思想の構造的把握」文科省科学研究費補助金研究成果報告書（基盤研究(C)、課題番号15K02032）2015-2018年。
- ・玉置奈保子「『金科一誠賦』注に見る明代日用類書の構成方法について」『和漢語文研究』12、2014年、143-167頁。
- ・玉置奈保子「明代後期日用類書律例・律法門収録歌訣の各日用類書間における関係について」『和漢語文研究』13、2015年、79-117頁。
- ・玉置奈保子「明代後期日用類書武備門の構成」『和漢語文研究』14、2016年、209-239頁。
- ・玉置奈保子「嘉興市図書館蔵周氏万卷楼刊『萬寶全書』について」『汲古』71、2017年、24-29頁。
- ・田村祐之「『朴通事』と日用類書との関係について」『姫路独協大学外国語学部紀要』15、2002年、223-241頁。
- ・陳翀「宋代私撰類書所収の白居易逸文考」『中国文学論集』36、2007年、42-56頁。

- ・寺田浩明「明清時期秩序の中の“約”の性質」滋賀秀三（編著）『明清時期の民事審判と民間契約』所収、法律出版社、1998年。
- ・朽尾武「類書の研究序説(2) ——五代十国宋代類書略史（池田勉教授・栗山理一教授古稀慶賀）」『成城國文學論集』11、1979年、251-292頁。
- ・朽尾武「類書の研究序説(3) ——五代十国宋代類書略史承前」『成城國文學論集』12、1980年、163-193頁。
- ・中嶋敏「新編事文類要啓筭青錢について」『大安』1963年10月号。
- ・中村喬（編・訳）『中国の食譜』平凡社東洋文庫、1995年。
- ・中村喬「中國料理史に於ける「炙」再考——元代増補『事林廣記』に據って」『学林』43、2006年、49-77頁。
- ・仁井田陞「元明時代の村の規約と小作証書など」『東洋文化研究所紀要』8号、1956年。
- ・仁井田陞『元明時代の村規約と小作証書など——日用百科全書の類二十種の中から——』東京大学東洋文化研究所、1962年。
- ・西尾賢隆「研究余録 速伝宗販の機山玄公奠茶法語と古今事文類聚」『日本歴史』737、2009年、81-91頁。
- ・橋川時雄「居家必用事類の解説」田中ちた子・田中初夫（編）『家政学文献集成 続編第7冊：江戸期』4-5頁所収、渡辺書店、1969年。
- ・早川光三郎「類書『事文類聚』と近世文学（ノート）」『滋賀大國文』7、1969年、1-10頁。
- ・本田精一「『三台万用正宗』算法門と商業算術」『九州大学東洋史論集』23、1995年、87-125頁。
- ・松田孝一「『事林広記』「皇元朝議之図」解説」『13. 14 世紀東アジア諸言語史料の総合的研究——元朝史料学の構築のために』文部省科学研究費補助金研究成果報告書（基盤研究(B)、課題番号 16320099) 所収、2007年、35-62頁。
- ・松田孝一「『事林広記』「皇元朝儀之図」解説補遺」『13、14 世紀東アジア史料通信』9、2009年、1-8頁。
- ・松村英哲「鍾馗考」(一)～(六)、『近畿大学教養部紀要』28-3 から 31-3、1997-2000年。
- ・丸山浩明「余象斗本考略」『二松学舎大学人文論叢』50、1993年、121-144頁。
- ・三浦國雄「沖縄に傳來した『萬寶全書』」『文芸論叢』62、2004年、81-104頁。
- 1
- ・三浦國雄「『萬寶全書』諸夷門小論——明人の外國觀——」『大東文化大学漢学会誌』44、2005年、227-248頁。
- ・水野正明「『新安原板士商類要』について」『東方学』60、1980年、96-117頁。
- ・三保忠夫「明代日用類書における助数詞(量詞)——日本語助数詞研究のために」『神

女大國文』21、2010年、1-18頁。

・宮紀子『『混一疆理歴代國都之図』への道』藤井讓治・杉山正明・金田章裕(編)『絵図・地図からみた世界像——京都大学大学院文学研究科21世紀COEプログラム「グローバル化時代の多元的人文学の拠点形成」15・16・17世紀成立の絵図・地図と世界観』中間報告書』所収、京都大学大学院文学研究科、2004年。

・宮紀子「對馬宗家舊藏の元刊本『事林廣記』について」『東洋史研究』67-1、2006年、35-67頁。

・宮紀子「叡山文庫所蔵の『事林廣記』写本について」『史林』91-3、2008年、455-495頁。

・宮川真弥『『枕草子春曙抄』における類書の利用とその隠匿：『円機活法』『事文類聚』を中心に』『詞林』51、2012年、25-39頁。

・森田明『『商賈便覧』〔吳中孚編 乾隆57年刊〕について——清代の商品流通に関する覚書(中国社会構造の研究)』『福岡大学研究所報』16、1972年、1-28頁。

・森田憲司『『事林廣記』の諸版本について』宋代史研究会編『宋代の知識人——思想・制度・地域社会——』汲古書院、1993年。

・森田憲司『『事林廣記』——経書から生活の知恵まで』『月刊しにか』9-3、1998年、50-53頁。

・森田憲司「王朝交代と出版——和刻本事林廣記から見たモンゴル支配下中国の出版」『奈良史学』20、2002年、56-78頁。

・森田憲司「元代類書における『文公家禮』の引用——至元8年婚姻礼制所引を中心に」『奈良史学』22、2004年、7-17頁。

・森田憲司ほか『中国近世の知識人社会と出版文化、とくに科挙関係資料と類書を中心に』文部省科学研究費補助金基盤研究成果報告書(特定領域研究、研究領域番号13021251)、2001-2004年。

・矢島玄亮『日本国見在書目録 集証と研究』汲古書院、1994年。

・横山俊夫ほか「久米島における東アジア諸文化の媒介事象に関する総合研究」文部省科学研究費補助金基盤研究成果報告書(基盤研究(A)、研究課題番号08309006)

・芳村弘道「本邦伝来の宋版『錦繡万花谷』」『学林』74、1996年、96-121頁。

・林桂如『余象斗の小説と日用類書』東京大学人文社会系研究科博士論文、2010年。²

・林桂如「余象斗の日用類書『三台萬用正宗』と小説『北遊記』『南遊記』について——玄天上帝・五顯靈觀(華光)を中心として」『東方学』118、2009年、80-90頁。

・和田久徳「宋代南海史料としての島夷雜誌」『お茶の水女子大学人文科学紀要』5号、1954年、27-63頁。

◆台灣

- 方彥壽『福建刻書論稿』台北：花木蘭文化出版社、2011年。
- 方師鐸『傳統文學與類書之關係』台中：東海大學研究叢書、1971年。
- 王正華「生活、知識與文化商品——晚明福建版“日用類書”與其書畫門」『近代史研究所集刊』41期、2003年9月、p. 1-85。
- 王崇峻「明清時期民間的用藥情況與醫療觀念初探」『花蓮教育大學學報（綜合類）』22期、2006年5月、p. 19-38。
- 王爾敏『明清社會文化生態』台北：台灣商務印書館、1997年。
- 王爾敏『明清時代庶民文化生活』台北：中央研究院近代史研究所、2000年。
- 朱傳譽「明代出版家——余象斗傳奇」『中外文學』16卷4期、1987年9月、p. 150-169。
- 吳靜芳「明代男性求子的醫療文化史考察——以種子方為例」『成大歷史學報』49期、2015年12月、p. 39-92。
- 吳蕙芳「評小川陽一著『日用類書による明清小説の研究』」『近代史研究所集刊』28期、1997年12月、p. 253-257。
- 吳蕙芳「明清時期民間日用類書及其反映之生活內涵——以『萬寶全書』為例」國立政治大學歷史學系學位論文（博士）、1999年。
- 吳蕙芳「新社會史研究——民間日用類書的應用與展望」『政大史粹』2期、2000年6月、p. 1-16。
- 吳蕙芳『中國日用類書集成』及其史料價值』『近代中國史研究通訊』第30期、2000年9月、p. 109-117。
- 吳蕙芳「民間日用類書的內容與運用——以明代『三台萬用正宗』為例」『明代研究通訊』3期、2000年10月、p. 45-56。
- 吳蕙芳「民間日用類書的淵源與發展」『國立政治大學歷史學報』18期、2001年5月、p. 1-28。
- 吳蕙芳『萬寶全書——明清時期的民間生活實錄』台北：政治大學歷史系、2001年。
- 吳蕙芳「口腹之欲——明版日用類書中的葷食」『中國歷史學會史學集刊』35期、2003年1月、p. 101-130。
- 吳蕙芳「上海圖書館所藏『萬寶全書』諸本——兼論民間日用類書中的拼湊問題」『書目季刊』36卷4期、2003年3月、p. 53-58。
- 吳蕙芳「清代民間生活知識的掌握——從『萬寶元龍雜字』到『萬寶全書』」『國立政治大學歷史學報』20期、2003年5月、p. 185-212。
- 吳蕙芳「「日用」與「類書」的結合——從『事林廣記』到『萬事不求人』」『輔仁歷史學報』第16期、2005年。
- 吳蕙芳『萬寶全書——明清時期的民間生活實錄（修訂版）』（古典文獻研究輯刊·初編第37·38冊）台北：花木蘭文化工作坊、2005年。

- 吳蕙芳『明清以來民間生活知識的建構與傳遞』台北：台灣學生書局、2007年。
- 吳蕙芳『『萬寶全書』所反映的清末民初社會變遷』『史學與史識——王爾敏教授八秩高壽榮慶學術論文集』p. 271-290、台北：廣文書局、2009年。
- 吳蕙芳「評酒井忠夫『中國日用類書史の研究』」『近代史研究所集刊』74期、2011年12月、p. 187-191。
- 周安邦「經典的通俗化與通俗的經典化——宋明庶民道德童蒙教材的通俗化傾向」『興大中文學報』33期、2013年6月、p. 43-44+p46。
- 周安邦「明代日用類書「農桑門」中收錄的農耕竹枝詞初探」『興大中文學報』36期、2014年12月、p. 103-153。
- 周安邦「由明代日用類書「農桑門」中收錄的蠶桑竹枝詞探究吳中地區的蠶業活動」『興大人文學報』55期、2015年9月、p. 33-75。
- 周美華「淺談類書——以「錦繡萬花谷」為例」『中國語文』91-2 (542)、2002年、p. 54-57。
- 周清源「中國古代飲食名著(上)」『烘焙工業』102-173、2002年、p. 48-56。³
- 林桂如「書業與獄訟——從晚明出版文化論余象斗公案小說的編纂過程與創作意圖」『中國文哲研究集刊』39期、2011年9月、p. 1-39。
- 邱澎生「有資用世或福祚子孫——晚明有關法律知識的兩種價值觀」『清華學報』33-1、2004年。
- 邱澎生「由日用類書到商業手冊——明清中國商業知識的建構」近代中國的財經變遷與企業文化學術研討會會議論文、2004年12月。
- 邱澎生「由『商賈便覽』看十八世紀中國的商業倫理」『漢學研究』33-3 (82)、2015年、p. 205-240。
- 孫永忠『類書淵源與體例形成之研究』台北：花木蘭文化出版社、2007年。
- 胡曉真·王鴻泰(主編)『日常生活的論述與實踐』台北：台灣允晨文化實業股份有限公司出版、2011年。
- 商偉「晚明的小說、日用類書與印刷文化」美國哥倫比亞大學東亞系(主辦)『世變與維新——晚明與晚清的文學藝術研討會文集』台北：中央研究院中國文哲研究所籌備處、1999年7月。
- 張哲嘉「日用類書“醫學門”與傳統社會庶民醫學教育」梅家玲(編)『文化啟蒙與知識生產——跨領域的視野』台北：台灣麥田出版社、2006年。
- 張滌華『類書流別』台北：商務印書館、1958年。⁴
- 張璉『明代中央政府出版與文化政策之研究』(古典文獻研究輯刊第二編)台北：花木蘭文化出版社、2006年。
- 許暉林「朝貢的想像——晚明日用類書「諸夷門」的異域論述」『中國文哲研究通訊』20卷2期、2010年6月。
- 陳正宏『『萬寶全書』雜考——兼與吳蕙芳女士商榷』『海峽兩岸古典文獻學學術研討會論文集』、2002年6月。

- 陳昭吟『晚明日用類書所收道教養生術研究 以養生門、修真門為範圍』台南：漢家出版社叢書、2011年。
- 陳昭珍『明代書坊之研究』台北：花木蘭文化出版社（古典文獻研究輯刊）2007年。
- 陳學文『明清時期商業書及商人書之研究』（国学精粹叢書之46）、台北：洪葉文化事業有限公司、1997年。
- 郭正宜「晚明日用類書勸諭思想研究」成功大學中國文學系學位論文（博士）、2015年1月。
- 郭立誠『郭立誠的學術論著——藝術·醫學·人文』（文史哲學集成286）台北：文史哲出版社、1993年。
- 鹿憶鹿「明代日用類書「諸夷門」與山海經圖」『興大中文學報』27號增刊、2010年12月、p. 273-293。
- 彭邦炯『百川匯海 古代類書與叢書』台北：萬卷樓圖書有限公司、2001年。
- 楊明璋「從記物到敘人——敦煌文獻、日用類書與徽州文書中的婚儀詩歌之比較」『2012通俗與武俠文學學術研討會論文集』2012年9月、p. 57-74。
- 詹怡娜「明代日用類書中的旅程指南」『明史研究專刊』17卷、2013年6月、p. 219-253。
- 詹怡娜「明代中晚期旅遊行程的安排與實踐」中國文化大學史學系學位論文（博士）、2013年7月。
- 劉兆祐『中國類書中的文獻資料及其運用』台北：漢學研究中心、1988年。
- 劉葉秋『類書簡說』台北：萬卷樓圖書有限公司、1993年。
- 戴文和「「錦繡萬花谷」介紹」『僑光學報』19、2001年、p. 247-280。
- 羅麗馨「十六、十七世紀的商業書」『中興大學歷史學報』7、1997年。

◆ 中国

- Jacob Eyferth · 胡冬雯「書写与口頭文化之間的工藝知識——夾江造紙中的知識關係探討」『西南民族大学學報(人文社科版)』2010年7期、p. 34-41。
- Joseph P. McDermott, *A Social History of the Chinese Book: Books and Literati Culture in Late Imperial China*, 香港: Hong Kong University Press, 2006年。
- 丁中「談談工具書的利用」『山西大學學報(哲學社會科學版)』1978年1期、p. 90-95。
- 丁紀元「略論『事林廣記』音譜類中的『總叙訣』」『音樂研究』1997年3期。
- 于韻菲「『事林廣記』之『愿成双·双勝子急』詠解」『文化藝術研究』2009年6期。
- 于寶華「簡論古代圖書市場對文獻傳存的影響」『津圖學刊』1995年3期、p. 58-68。
- 小田「構建整體社會史的學術使命」『徐州師範大學學報(哲學社會科學版)』37卷1期、2011年、p. 100-105。
- 中島樂章『明代鄉村糾紛与秩序』南京: 江蘇人民出版社、2010年。
- 尹韻公『中國明代新聞傳播史』重慶: 重慶出版社、1990年。
- 尤陳俊「明清日常生活中的訟學傳播——以訟師秘本与日用類書為中心的考察」『法學』2007年3期、p. 71-80。
- 尤陳俊「明清法律知識的另類空間——透過日用類書的展示」『法史學刊』2007年。
- 尤陳俊「明清日用類書中的律學知識及其變遷」曾憲義(主編)『法律文化研究第三輯』所収、北京: 中國人民大學出版社、2007年。⁵
- 尤陳俊『法律知識的文字傳播——明清日用類書与社会日常生活』上海: 上海人民出版社、2013年。
- 文超「中国古代編輯事業發展概況述評」『齊齊哈爾師範學院學報(哲學社會科學版)』1984年3·4期(連載)。
- 方波「民間書法知識的建構与傳播——以晚明日用類書中所載書法資料為中心」『文藝研究』2012年3期。
- 方彥壽「明代建陽刻本廣告芻議」『文獻』2001年1期、p. 177-185。
- 方彥壽『建陽刻書史』北京: 中國社會出版社、2003年。
- 方彥壽「朱熹的道統論与建本類書中的先賢形象」『孔子研究』2011年5期、p. 42-49。
- 方品光·陳愛清「元代福建書院刻書」『福建師範大學學報(哲學社會科學版)』1994年3期。
- 方師鋒『傳統文學与類書之關係』天津: 天津古籍出版社、1986年。
- 毛巧暉·劉莎莎「民俗“鏡像”——由日用類書看明代文化交流——基于『鼎鑊崇文閣匯纂士民万用正宗不求人全編』“外夷門”的考察」『百色學院學報』2016年1期、2016年7月、p. 105-111。
- 王日根「明清時期失意舉子的職業走向」『考試研究』2008年1期、p. 98-111。
- 王利偉「宋代類書在中国古代類書編纂史上的地位」『辭書研究』2010年5期、p. 142-151。

- 王珂「宋元日用類書『事林廣記』研究」上海師範大學 2010 年論文（博士）、2010 年 9 月。
- 王珂「『事林廣記』源流考」『古典文獻研究』第 15 輯、鳳凰出版社、2012 年。
- 王珂「元刊『事林廣記』插圖考論」『古典文獻研究』2015 年 2 期。
- 王珂「『事林廣記』版本考略」『南京師範大學文學院學報』2016 年 2 期、2016 年 7 月、p. 167-175。
- 王重民『中國善本書提要』上海：上海古籍出版社、1983 年。
- 王振忠「徽州文書所見種痘及相關習俗」『民俗研究』2000 年 1 期、p. 37-68。
- 王振忠「清代徽州民間的災害、信仰及相關習俗——以婺源縣浙源鄉孝悌里鳳騰村文書『忝酬便覽』為中心」『清史研究』2001 年 2 期、p. 105-119。
- 王振忠「民間檔案文書與徽州社會史研究的拓展」『天津社會科學』2001 年 5 期、p. 140-144。
- 王振忠「民間文獻與歷史地理研究」『江漢論壇』2005 年 1 期、p. 97-99。
- 王振忠「清代前期徽州民間的日常生活——以婺源民間日用類書『目錄十六條』為例」陳鋒（主編）『明清以來長江流域社會發展史論』（武漢大學人文社會科學文庫）所收、武漢：武漢大學出版社、2005 年。⁶
- 王振忠「清代一個徽州小農家庭的生活狀況——對『天字號鬮書』的考察」『上海師範大學學報（哲學社會科學版）』35 卷 1 期、2006 年、p. 101-109。
- 王振忠『明清以來徽州村落社會史研究——以新發現的民間珍稀文獻為中心』（國家哲學社會科學成果文庫）上海：上海人民出版社、2011 年。
- 王振忠「區域文化視野中的民間日用類書——從『祭文精選』看二十世紀河西走廊的社會生活」『地方文化研究』7 號、2014 年、p. 19-32。
- 王振忠「閩南貿易背景下的民間日用類書——『指南尺讀生理要訣』研究」『安徽史學』2014 年 5 期、p. 5-12。
- 王振忠· 陶明選「晚清徽州民間社會生活管窺——『新舊碎錦雜錄』抄本兩種整理札記」『安徽史學』2006 年 5 期、p98-103。
- 王桂平「明代的學術流變與江蘇私家刻書之關係」『大學圖書館學報』2014 年 6 期、p113-119。
- 王雅「儒家倫理日常化與內在化的途徑」『遼寧大學學報（哲學社會科學版）』35 卷 4 期、2007 年、p. 1-5。
- 王璐「繼承與創新——古籍中農事圖繪制手法探析」『西北農林科技大學學報（社會科學版）』2016 年 2 期、p. 153-157。
- 王爾敏『明清時代庶民文化生活』長沙：岳麓書社、2002 年。
- 全建平「『翰墨全書』編纂及其版本考略」『圖書館情報工作』2010 年 21 期。
- 全建平「『新編事文類聚翰墨全書』研究」寧夏人民出版社、2011 年。
- 全建平「宋元民間日用類書文獻價值述略」『山西檔案』2013 年 1 期。
- 全建平「略談『翰墨全書』利用的幾個問題」『史學集刊』2014 年 2 期、p. 58-65。

- 仝建平『宋元民間交際應用類書探微』中国社会科学出版社、2015年
- 平田昌司「『事林廣記』音語類『辨字差殊』條試釋」『漢語史學報』2005年1期。
- 本傑明·艾爾曼·劉宗靈「收集与分類——明代匯編与類書」『學術月刊』41-5卷、2009年、p. 126-138。
- 白化文「敦煌遺書中的類書簡述」『中国典籍与文化』1999年4期、p. 50-59。
- 白謙慎·薛龍春「塵事的史迹」『讀書』2007年1期、p. 51-58。
- 石昌渝「明代公案小說——類型与源流」『文学遺產』2006年3期、p. 110-117。
- 石雷「近年日本元明清詩文研究」『蘇州大學學報(哲学社会科学版)』29-2卷、2008年、p. 53-57。
- 向志柱「古代通俗類書与『胡氏粹編』」『古典文学知識』2008年4期、p. 70-77。
- 朱崇才「新見『嘲戲綺談曲子詞』46首考論」『重慶工商大學學報(社会科学版)』2003年2期、p. 13-17。
- 米列娜·瓦格納·林盼「思維方式的轉型与新知識的普及——清末民初中国百科全書的發展歷程」『復旦學報(社会科学版)』2015年2期、p. 37-47。
- 余麗芬「探赜索隱 治史用世——評『明清時期商業書及商人書之研究』」『中国經濟史研究』2001年1期、p. 138-140。
- 伯希和·高田時雄(著)郭可(譯)『梵蒂岡圖書館所藏漢籍目錄』北京：中華書局、2006年。
- 何斯琴「試論晚明善書文献的流通」『福建論壇(社科教育版)』2011年12期、p. 134-135。
- 勞漢生『珠算与实用算術』(中国数学史体系)石家莊：河北科學技術出版社、2000年。
- 吳佐忻「『山居要術』考」『医古文知識』2003年3期。
- 吳佩林「法律社会学視野下的清代官代書研究」『法學研究』13-2号、2008年、p. 149-160。
- 吳釗「宋元古譜“愿成双”初探」『音樂藝術』1983年2期、p. 5-14。
- 吳蕙儀「17、18世紀之交欧洲在華傳教士漢語知識的傳承与流變——基于梵蒂岡圖書館一份手稿的个案探討」『國際漢學』2017年4期。
- 呂建強「『樂星圖譜』中的宮調理論」『黃鐘 武漢音樂學院學報』1992年2期、p. 24-30。
- 杜金「明清法律書籍的知識社会史——論龍陳俊著『法律知識的文字傳播——明清日用類書与社会日常生活』」『中国古代法律文献研究』2016年。
- 杜金·徐忠明「索象于圖——明代听審插圖的文化解讀」『中山大学學報(社会科学版)』2012年5期、2012年7月、p. 7-31。
- 杜金·徐忠明『傳播与閱讀 明清法律知識史』北京：北京大學出版社、2012年。
- 李之檀「福建建安派木刻版画」『中国歷史博物館館刊』1986年号。
- 李合群·司麗霞·段培培「北宋東京皇宮布局復原研究——兼对元代『事林廣記』中的『北宋東京宮城圖』予以勘誤」『中原文物』2012年6期。
- 李伯重「明清江南的出版印刷業」『中国經濟史研究』2001年3期、p. 94-107。
- 李伯重「八股之外——明清江南的教育及其对經濟的影响」『清史研究』2004年1期、

p. 1-14。

- 李成渝·林青·馬彥「四川省廣元縣夢家橋一、二號墓伎樂石雕的研究」『音樂探索 四川音樂學院學報』1985年1期、p. 52-55+99。
- 李來璋「樂星圖譜『總叙訣』辨析」『黃鐘 武漢音樂學院學報』1993年3期、p. 39-49。
- 李更「『錦綉萬花谷』續書與『初學記』——南宋書坊“纂”書方式管窺」『古典文獻研究』2012年。
- 李更「『錦繡萬花谷續集』“別本”及其文獻價值——以“拾遺”諸卷為中心」『版本目錄學研究』2013年。
- 李更「『古今合璧事類備要』管窺——以“民事門”為例」『版本目錄學研究』2015年。
- 李茂增『宋元明清的版畫藝術』鄭州：大象出版社、2000年。
- 李春光「金毓黻赴日搜求東北史地文獻考略」『遼寧大學學報(哲學社會科學版)』35卷6期、2007年、p. 79-82。
- 李倩「中國古代蒙養教材中的法律史料——兼論中國古代的普法教育」『法律文獻信息與研究』2010年2期、p. 7-14。
- 李致忠「『錦綉萬花谷』編者為誰再探討」『新世紀圖書館』2013年5期、p. 74-76+42。
- 李媛媛「從『士商類要』看明代徽州商業教育」『黑龍江史志』2014年23期、p. 7-108。
- 李豪「『古今合璧事類備要』引『唐大詔令集』佚篇考辨」『古籍整理研究學刊』2014年11月、6期、p. 27-31。
- 汪超「論明代日用類書與詞的傳播」『圖書館與情報』2010年2期。
- 沈乃文「『事文類聚』的成書與版本」『文獻』2004年3期。
- 沈克「元刻本『事林廣記』圖像考辨」『新美術』2010年5期。
- 沈津(主編)『美國哈佛大學哈佛燕京圖書館藏中文善本書志』桂林：廣西師範大學出版社、2011年。
- 肖東發「建陽余氏刻書考略(上)」『文獻』21期、1984年。
- 周一良「唐代的書儀與中日文化關係」1984年1期、p. 43-54。
- 周少川「略論古代類書的起源與發展」『殷都學刊』1996年1期、p. 50-56。
- 周立志「二卷被忽視的宋金交聘圖文研究」『中國歷史史地理論叢』2012年4期、p. 147-155。
- 周迅「二十年來日本刊印中國史籍概說」『文獻』1982年3期、p. 117-132。
- 周啓榮「明清印刷書籍成本、價格及其商品價值的研究」『浙江大學學報』2010年1期。
- 林忠鵬「『倭名類聚抄』與中國典籍」『重慶師範學院學報(哲學社會科學版)』2000年2期、p. 83-89。
- 林剛「明清英雄傳奇小說生成的商業經濟基礎」『湖南商學院學報』13卷5期、2006年、p. 94-97
- 林霞「明清農書的創作特點及其影響情況研究」『農業考古』2015年3期、p. 294-299。
- 林應麟『福建書業史』廈門：鷺江出版社、2004年。
- 苑磊「明代故事匯編類通俗日用類書的編輯藝術——以『日記故事』為例」『山東圖書

- 館學刊』2014年1期、2014年3月、p. 90-94。
- 邱紀鳳『『古今圖書集成』與陳夢雷——兼談『醫部全錄』在祖國醫學上的貢獻』《雲南中醫學院學報》1983年4期、p. 22-27。
 - 邱澎生·陳熙遠(編)『明清法律運作中的權力與文化——新民說·法律文化文叢』桂林：廣西師範大學出版社、2017年。
 - 金良·滿都呼·董傑『『居家必用事類全集』中的肉食貯存技藝研究』《內蒙古師範大學學報(自然科學漢文版)》2015年5期。
 - 侯外廬「方以智——中國的百科全書派大哲學家」上·下篇、『歷史研究』1957年6-7期。
 - 俞昕雯「元刻本『事林廣記』版畫考」《中國典籍與文化》2016年4期。
 - 姜椿芳『從類書到百科全書——百科全書文集』北京：中國書籍出版社、1990年。
 - 姜曉萍『『士商類要』與明代商業社會』《西南師範大學學報(哲學社會科學版)》1996年1期、p. 67-70。
 - 姚大勇『『事林廣記』醫藥資料探微』《中醫藥文化》2007年2期。
 - 施懿超「宋代類書類四六文叙錄」《古籍整理研究學刊》2007年3期、p. 8-15。
 - 夏南強「類書通論——論類書的性質起源發展演變和影響」華中師範大學學位論文(博士)、2001年。
 - 夏南強『類書通論』武漢：湖北人民出版社、2001年。
 - 祝昊冉『『事林廣記』俗字淺探』《文教資料》2017年7期。
 - 胡道靜「談古籍的普查和情報」《歷史研究》1982年4期、p. 3-20。
 - 胡道靜『中國古代的類書』北京：中華書局、1982年。
 - 胡道靜『農書·農史論集』農業出版社、1985年。
 - 孫文傑「明代暢銷書述略」《編輯之友》2016年9期。
 - 孫超「論僑易視域中的『金瓶梅詞話』與晚明江南士風」《求是學刊》2016年4期、2016年9月、p. 124-131。
 - 孫楷第(編)『日本東京所見中國小說書目』上海：上雜出版社、1953年。
 - 徐忠明「明清時期法律知識的生產、傳播與接受——以法律書籍的“序跋”為中心」《華南師範大學學報(社會科學版)》2015年1期、p. 9-47。
 - 徐忠明「娛樂與諷刺——明清時期民間法律意識的另類敘事」同(著)『案例、故事與明清時期的司法文化』北京：法律出版社、2006年。
 - 徐忠明「古代中國人的日常法律意識」《決策探索(下半月)》2015年2期、p. 90-92。
 - 徐海榮『中國飲食史』北京：華夏出版社、1994年。
 - 徐梓『蒙學讀物的歷史透視』武漢：湖北教育出版社、1996年。
 - 徐嘉露「明代民間契約習慣與民間社會秩序」《中州學刊》2016年5期。
 - 徐嘉露「明代民間日用類書契約體式的史料價值」《北方文物》2018年2期、p. 97-105。
 - 郝婧·王俊「從『錦綉萬花谷』看宋版書再生性保護」《傳播與版權》2017年2期。

- 高莉芬「穿梭他界与我界——鹿憶鹿的神話研究」『長江大學學報(社科版)』2016年10期。
- 商偉·王翎·David Der-Wei Wang「日常生活世界的形成與建構——『金瓶梅詞話』與日用類書」『國際漢學』2011年1期。⁷
- 常建華「明代日常生活史研究的回顧與展望」『史學集刊』2014年3期、p. 95-110。
- 常建華「徽州文書的日常生活史價值」『安徽史學』2015年6期、p. 5-10。
- 袁逸「明末私人出版業的偽盜之風」葉再生(主編)『出版史研究第一輯』所收、北京：中國書籍出版社、1993年。
- 張仲民「從書籍史到閱讀史——關於晚清書籍史／閱讀史研究的若干思考」『史林』2007年5期、p. 151-180。
- 張固也「王旻『山居要術』新考」『中醫藥文化』2009年1期。
- 張固也·李輝「『山居錄』——我國現存最早的種藥傳著」『南京中醫藥大學學報(社會科學版)』2008年4期。
- 張勃「中國歲時民俗文獻的書寫傳統及其成因分析——兼及這一傳統對明代歲時民俗文獻的影響」『民族藝術』2011年3期、p. 59-66。
- 張孟聞「中國生物分類學史述論」『中國科技史料』8卷6期、1987年、p. 3-27。
- 張秀民「明代印書最多的建寧書坊」『文物』1979年6期、p. 76-80。
- 張春輝「類書的範圍與發展」『文獻』1987年1期、p. 179-190。
- 張春輝「類書的類型與編排」『文獻』1987年2期、p. 266-273。
- 張曉紅「“宋代帖子詞”四題」『中國典籍與文化』2011年4期。
- 張海英「明清江南商路的經濟內涵」『浙江學刊』2005年1期、p. 99-108。
- 張海英「日用類書中的“商書”——析『新刻天下四民便覽三台萬用正宗 商旅門』」『明史研究』第9輯2005年6月。
- 張海英「明清社會變遷與商人意識形態——以明清商書為中心——」『復旦史學集刊』第一輯、2005年。
- 張海英「從商書看清代“坐賈”的經營理念」『浙江學刊』2006年4期、p. 94-101。
- 張海英「從明清商書看商業知識的傳授」『浙江學刊』2007年2月期、p. 83-90。
- 張富春「論瘟神趙公明是怎樣成為財神的」『宗教學研究』2006年1期、p. 126-130。
- 張獻忠「明中後期書商的市場意識和競爭策略」『江漢論壇』2012年8期、p. 112-121。
- 張獻忠「明代南京商業出版述略」『明史研究論叢』、2012年版。
- 張獻忠「明中後期商業出版的大眾傳播屬性與文化的下移」『求是學刊』40-2卷、2013年、p. 164-169。
- 張獻忠「日用類書的出版與晚明商業社會的呈現」『江西社會科學』33-2卷、2013年、p. 120-127。
- 張獻忠「文社、書坊與話語權力——晚明商業出版與公共空間的興起」『學術研究』2015年9期、p. 101-115。

- 張濯清「宋元日用類書的類型、編纂特色及其價值」『中国出版』2016年16期。
- 張瀾『中国古代類書的文学觀念——『事文類聚翰墨全書』与『古今圖書集成』』北京：九州出版社、2013年。
- 張麗娟「關於過雲樓舊藏『錦繡萬花谷』」『版本目錄学研究』2013年。
- 崔凱「『錦繡萬花谷』編者与盧襄關係考」『古籍研究』2017年1期。
- 許三春「略論清代的鄉村医者」『蘭台世界』2015年16期、p. 128-129。
- 郭孟良『晚明商業出版』北京：中國書籍出版社、2012年。
- 郭玲麗「『事林廣記』中的“詞狀”初探」『語文学刊』2013年7期、2013年8月、p. 61-62
- 郭麗榮「『事林廣記』对漢語文化教学的啓示」『語文学刊』2015年16期、p. 147-160。
- 陳平原·米列娜（主編）『近代中國的百科辭書』北京：北京大學出版社、2007年。
- 陳其泰「梁啓超与中国史学的近代化」『南開學報』1996年5期。
- 陳東「金瓶梅相面斷語考辨」『金瓶梅研究』4号（1993年）p. 122-132。
- 陳長甯「滴水藏海——法律文字与社会的關聯——『法律知識的文字傳播——明清日用類書与社会日常生活』評介」『雲南大學學報（法學版）』27卷2期、2014年、p. 137-142。
- 陳時龍『明代中晚期講學運動（1522~1626）』上海：復旦大學出版社、2007年。
- 陳高華「舍儿別与舍儿別赤的再探討」『歷史研究』1989年2期、p. 151-160。
- 陳高華「元代飲茶習俗」『歷史研究』1994年1期、p. 89-102。
- 陳鋒「“建安版画”无書不图的叙事——古代插图的文化特征与作用」『文芸研究』2007年11期、p. 160-161。
- 陳學文『中国封建晚期的階段商品經濟』長沙：湖南人民出版社、1989年。
- 陳學文「明代中葉以來棄農棄儒商風氣和重商思潮的出現」『九州學刊』香港：香港中華文化促進中心出版、3卷4期、1990年9月、p. 55-66。
- 陳學文「明代日用類書中的商業用書研究」『明史研究』第5輯。
- 陳學文「从『士商類要』来看明代徽商經商之道」『學術界』1994年6期、p. 49-53。
- 陳學文「明清時期江南的商品流通与水運業的發展——从日用類書中商業書有関記載来研究明清江南的商品經濟」『浙江學刊』1995年1期、p. 31-37。
- 陳學文「明清時期商業文化的代表作『商賈便覽』——明清商書研究系列之十」『杭州師範學院學報』1996年2期、p. 4-16。
- 陳學文「明代一部商賈之教程、行旅之指南——陶承慶『新刻京本華夷風物商程一覽』評述（明清商書系列研究之七）」『中国社会經濟史研究』1996年1期、p. 86-93。
- 陳學文「論明清江南流動圖書市場」『浙江學刊』113号、1998年、p. 107-111。
- 陳學文「明清徽州商人之成功——明清徽商經營之道与商業道德」『浙江學刊』2001年6期、p. 125-132。
- 陳學文『陳學文集』合肥：黃山書社、2011年。
- 陳學文「明代中叶以来農村的社会管理——以日用類書的記載来研究」『中国農史』2013年1期、p. 70-78。

- 陳學文「明清時期維護生態的条令和民約」『浙江學刊』2013年4期、p. 38-43。
- 陳學文「从日用類書記載来看明清時期的家庭与婚姻形態」『江南大學學報(人文社会科学版)』12-5卷、2013年、p. 33-38。
- 陳學文「明代信牌、信票和路引的考釋」『中国典籍与文化』89号、2014年、p. 106-109。
- 陳學文「明清時期社会治安的条令和鄉規民約」『江南大學學報(人文社会科学版)』13卷4期、2014年、p. 48-53。
- 陳學文「明清時期的山林生態環境保護」『中原文化研究』2014年3期、2014年6月、p. 66-70。
- 陳學文「明清時期鄉村的社会治安和社会秩序整治——以日用類書為中心」『浙江社会科学』2015年3期、p. 137-143。
- 陳寶良「明代社会轉型与文化變遷」『中州學刊』2012年2期。
- 陳寶良「游逸嬉玩——晚明的社会流動与文化的轉向」『浙江學刊』2014年5期、p. 40-49。
- 喬福錦「歷史文献學視域中的鄉村社会文献整理」『遼東學院學報(社会科学版)』13卷3期、2011年、p. 103-112。
- 温志拔「宋代類書中的博物學世界」『社会科学研究』2017年1期。
- 森田憲司「關於在日本的『事林廣記』諸本」『國際宋史研討會論文選集』所収、保定：河北大學出版社、1992年、p. 266-280。
- 程麗紅·焦寶「清代傳媒文化論」『復旦學報(社会科学版)』2015年2期、p. 117-124。
- 黃傑「兩首宋人茶詞所記茶事考」『農業考古』2008年2期、p. 191-195+212。
- 塗丹·刁培俊「東南亞香藥与明代飲食風尚」『古代文明』2016年4期、p. 85-94。
- 梁其姿·蔣竹山(譯)「明清中國的醫學入門與普及化」『法國漢學』8輯、2003年。
- 葉樹聲·余敏輝『明清江南私人刻書史略』合肥：安徽大學、2000年。
- 楊軍「明代江南民間書坊興盛的社会背景透析」『圖書与情報』2006年5期、p. 132-136。
- 楊軍·楊華林「論明代江南民間書坊的勃興及其社会意蘊」『出版科学』2016年5期。
- 楊殿珣『中国善本書提要』後記『史学史研究』1981年2期、p. 75-80。
- 楊寶霖『古今合璧事類備要』別集草木卷与『全芳備祖』『文献』1985年1期、p. 160-173。
- 賈慧如「元代類書在元代社会史研究中的價值初探」『內蒙古大學學報(哲学社会科学版)』43卷4期、2011年、p. 105-110。
- 賈慧如「元代類書的類型、特点与影响」『內蒙古社会科学(漢文版)』32卷6期、2011年、p. 86-90。
- 趙含坤(編著)『中國類書』石家莊：河北人民出版社、2005年。
- 趙益「明代通俗日用類書与庶民社会生活關係的再探討」『古典文献研究』2013年。
- 趙晶「“新法律史” 這般發生——評龍陳俊著『法律知識的文字傳播——明清日用類書与社会日常生活』」『中国社会歷史評論』2015年。
- 劉天振『明代通俗類書研究』濟南：齊魯書社、2006年。
- 劉天振「从家書活套透視明代后期家庭倫理危機——以萬曆間刊『万用正宗不求人』

- 的“書啓門”為考察中心』《齊魯學刊》201 号、2007 年、p. 22-26。
- 劉天振「試論明代民間類書中歌訣的編輯功能——以明刊日用類書與通俗故事類書為考察中心」《中國典籍與文化》62 号、2007 年、p. 89-94。
 - 劉天振「明刊日用類書所輯詩歌初探」《齊魯學刊》2010 年 3 期。
 - 劉天振「明代日用類書編輯藝術與民間知識傳播」《中國科技史雜誌》2011 年 z1 期、2011 年 7 月、p. 142-150。
 - 劉天振《明清江南城市商業出版與文化傳播》北京：中國社會科學出版社、2011 年。
 - 劉全波「論明代日用類書的出版」《山東圖書館學刊》2014 年 5 期。
 - 劉同彪「日用類書中所見的宋元明民間婚姻禮俗」《民間文化論壇》2010 年 4 期、p. 51-58。
 - 劉同彪「南宋元明日用知識讀物的生產與傳播——以福建建陽坊刻日用類書為例」北京師範大學 2010 年論文（博士）、2010 年 9 月。
 - 劉迎勝「馬薛里吉思任職鎮江原因考——一種外來飲品舍里八生產與消費的本土化過程」《中華文史論叢》2015 年 1 期、p. 109-131。
 - 劉長東「論民間神靈信仰的傳播與接受——以掠剩神信仰為例」《四川大學學報（哲學社會科學版）》151 号、2007 年、p. 75-83。
 - 劉秉果「『蹴鞠譜』著作年代考」《體育文史》1986 年 6 期、p. 32-38。
 - 劉修業「敦煌本『說史編年詩』與明代小類書『大千生鑒』」《敦煌語言文學研究》北京：北京大學出版社、1988 年。
 - 劉葉秋《類書簡說》（中國古典文學基本知識叢書）、上海：上海古籍出版社、1980 年。
 - 劉剛「八十年類書研究之檢討」《大學圖書館學報》2006 年 4 期。
 - 劉捷「明末通俗類書與西方早期中國志的書寫」《民俗研究》115 号、2014 年、p. 35-42。
 - 劉捷「利瑪竇世界地圖中的“海外羸蟲”——兼論市民文化與晚明世界視的塑造」《民族研究》2017 年 1 期、p. 80-86。
 - 劉磊「『錦綉萬花谷』版本著錄及傳統時代文獻利用述考」《古籍研究》2017 年 1 期。
 - 劉緯毅「中國方志史初探」《文獻》1980 年 4 期、p. 196-211。
 - 劉興亮「『事林廣記』載元代西南地區政區資料探析」《三峽論壇（三峽文學 理論版）》2015 年 6 期。
 - 潘法連「讀『中國農學書錄』札記八則」《中國農史》1988 年 1 期、p. 116-120。
 - 鄧建鵬「宋代的版權問題——兼評鄭成思與安守廉之爭」《環球法律評論》2005 年 1 期、p. 71-80。
 - 鄭炳林· 劉全波「類書與中國文化」《北京理工大學學報（社會科學版）》13 卷 5 期、2011 年、p. 122-126。
 - 鄭祖襄「『事林廣記』唱賺樂譜的音階宮調及相關問題」《音樂研究》2003 年 2 期、p. 34-38。
 - 鄭振鐸《西諦書話》上· 下冊、北京：生活· 讀書· 新知三聯書店、1983 年。
 - 鄭振鐸（編）《中國古代版畫叢刊——救荒本草、日記故事、忠義水滸傳插圖、便民圖纂》上海：上海古籍出版社、1988 年。

- 鄭偉「『事林廣記』音譜類『辨字差殊』若干音韻條例再分析」『漢語史學報』2014年、p. 109-120。
- 錢玉林「陳元龍的『格致鏡原』——十八世紀初的科技史小型百科全書」『辭書研究』1982年5期、p. 156-161。
- 閻艷· 祝昊冉「『事林廣記』俗字探微」『內蒙古師範大學學報(哲學社會科學版)』2014年6期。
- 賴玉芹「論湯斌的學術思想及成就」『商丘師範學院學報』22卷3期、2006年、p. 12-14。
- 龍曉添「日用類書喪禮知識書寫的特點與變遷」『四川民族學院學報』2015年4期、2015年8月、p. 69-75。
- 繆咏禾『明代出版史稿』南京：江蘇人民出版社、2000年。
- 謝一峰「拼貼與“雜拌兒”評『家與天下——十六、十七世紀刻本書籍中所塑造的“盛世皇明”』」『讀書』2016年8期。
- 謝水順「清代閩南刻書史述略」『文獻』1986年3期、p. 256-263。
- 謝水順· 李珽『福建古代刻書』福州：福建人民出版社、2001年。
- 謝國楨「明清筆記稗乘所見錄」『文物』1961年3期、p. 1-7。
- 韓翠花「類書與叢書在文化傳播上的不同作用」『中國典籍與文化』1998年3期、p. 58-62。
- 韓毅「中國傳統工匠技藝與民間文化——“中國傳統工匠技藝與民間文化”國際學術研討會綜述」『中國科技史雜誌』2008年4期、p. 401-404。
- 戴克瑜· 常建華(主編)『類書的沿革』成都：四川省圖書館學會、1981年。
- 戴建國「元『至元雜令』發覆」『河北學刊』2012年4期、p. 69-74。
- 戴健「論明代公案小說與律治之關係」『江海學刊』2007年6期、p. 178-183。
- 戴健『明代後期吳越城市娛樂文化與市民文學』北京：社會科學文獻出版社、2012年。
- 戴雲「唐宋飲食文化要籍考述」『農業考古』1994年1期、p. 226-234。
- 魏代富「宋前十家農書論考」『山東農業大學學報(社會科學版)』2015年3期。
- 魏志遠「道德與實用——從日用類書看明朝中後期的民間倫理思想」『廣西大學學報(哲學社會科學版)』34-6卷、2012年、p. 109-113。
- 魏志遠「禮秩與實用——從明代中後期的日用類書看儒家倫理民間化」南開大學學位論文(博士)、2013年。
- 魏志遠「明代日用類書與儒家童蒙教育」『安徽師範大學學報(人文社會科學版)』2015年2期。
- 簫東發「建陽余氏刻書考略(上)(中)(下)」『文獻』21輯、1984年、p. 230-245；22輯、1984年、p. 195-216；1985年1期、p. 236-252。
- 譚建川「中日傳統蒙學教材比較」『西南師範大學學報(人文社會科學版)』2005年4期、p. 71-77。
- 譚清華「唐宋時期道門農書及其農學思想稽考」『佳木斯大學社會科學學報』2017年2期。

◆その他の地域

- ・ Benjamin Elman, "Collecting and Classifying : Ming Dynasty Compendia and Encyclopedias (Leishu)", *Extrême-Orient, Extrême-Occident*, France: Vincennes (Presses Universitaires de Vincennes), 2007, pp131-157.
- ・ Cynthia Brokaw, "Commercial Publishing In Late Imperial China: The Zou And Ma Family Business Of Sibao", *Late Imperial China*, June 1996, pp49-92.
- ・ Valerie Hansen, *Negotiating Daily Life in Traditional China: How Ordinary People Used Contracts 600-1400*, New Haven and London: Yale University Press, 1995.
- ・ 商偉, "Jin Ping Mei Cihua and Late Ming Print Culture", in Judith Zeitlin and Lydia Liu, eds., *Writing and Materiality in China: Essays in Honor of Patrick Hanan*, Cambridge, Mass.: Harvard University Asian Center, 2003.
- ・ 商偉, "The making of the everyday world: Jin Ping Mei Cihua and encyclopedias for daily use ", in David D.W. Wang and 商偉 ed., *Dynastic Crisis and Cultural Innovation: from the Late Ming to the Late Qing and Beyond*, Cambridge, Mass: Harvard University Press, 2005, pp63-92.⁸

¹ 『中國文學論叢』2004年に同名論文あり

² コンテンツワークス社よりオンデマンド出版あり

³ (下)は不明

⁴ 重印第1版修訂本。1943年初版、北京：商務印書館1985年版あり

⁵ 蘇力(主編)『法律文化研究』第二卷(法律出版社、2007年、p.424-436)にも所収。

⁶ 胡曉真・王鴻泰(主編)『日常生活的論述与实践』台北：台湾允晨文化実業股份有限公司、2011年、王振忠『明清以来徽州村落社会史研究——以新發現的民間珍稀文献为中心』(国家哲学社会科学成果文库)上海：上海人民出版社、2011年にも所収。

⁷ 同氏の2005年論文 "The making of the everyday world: Jin Ping Mei Cihua and encyclopedias for daily use "の中国語訳版。

⁸ 『国際漢学』2011年1期に中国語訳版(標題「日常生活世界的形成与建構——『金瓶梅詞話』与日用類書)あり。